

伊東市 新井地区協議会 H27. 4. 30開催 WS意見

【1グループ】

分類	意見
避難路	避難路の確認(土砂崩れ)
	山崩れが心配
	ガケ崩れ
	避難場所に危険を伴うところが多い
	土砂崩れで道がつぶされていないか
	高台につながっている道があるか
	避難路が狭いので、障害になる様なものがないか？ガケ崩れ・割れ・電柱等
	避難路が谷形状で、崩れると避けられない
	地割れによる通行不能
整施設	防潮堤より、海岸沿いに高いタワーが良い(高台)
情報	テレビ・広報等を確認して、津波避難の必要性？
	避難場所までの道路の確認
高齢者	避難に時間がかかる
	津波が心配 海が近いから、年齢だから家の中の安全な所にいる 自分の身は自分で守る ヘルメットは必ず玄関に置いてある 近所への声かけ 避難場所に避難する
	家の回りをみて判断する 親がいるので連れては避難できないかな？
	国道に近い所の組の高齢者の方、体の不自由な方の対策
	弱者の安全確保
その他	ガス・電気を止めて、近所に大声で避難を呼びかけ、第一次避難場所(新井神社)へ
	高台にいるので津波は心配ない ガスを切って避難場所に行く

【2グループ】

分類		意見
避難	避難路	避難路が海拔6m位の所を通るので心配
		道路が渋滞し、逃げ出すのが困難である
		避難路が遮断される(建物・ガケ等の崩れにより)
		自宅から避難所までの道路が通じているか
		新井地区は高齢者が多い 新井分園へ行くまでの道が心配
		老人が心配 避難の足
	避難所	高齢者の避難
		新井地区の避難所が新井区民会館と新井分園です 特に、新井分園は昭和51年に建てられ39年経っています また、平成6年から休園中(21年間) 日常、電気・ガス・水道が使われていないので心配
自然現象	山崩れ	避難所に入ることができるか(到着した時に定員オーバーとか)
		避難路が確保されるか(山崩れ等から)
		実家の裏がガケなので土砂崩れが心配
		山の方が、土砂崩れ等により道をふさがれ、隔離されてしまう心配がある
		ガケ崩れの危険
	津波	地盤沈下の危険
		海拔3mの家 津波でダメ
		津波の危険
		船が壊れる
建物等の危険	建物の倒壊の危険(民家・電柱等)	
	家の耐震が不十分	
	自宅から出られる状態であるかどうか(玄関等の破壊)	
	木造の家です 築45年 耐震なし	
	家具等の転倒による怪我のおそれ	
	地震の時、瓦屋根が心配	
火災	消防ポンプ車を移動させるのが困難である(その後の火災対応ができない)	
	火災の危険	
	火を止める	
情報	連絡手段が遮断される心配(家族)	
	情報の正確さ!	
救助	家族・近隣住民に負傷者がいるか	
	高齢者の救助の心配	

【3グループ】

分類	意見
避難路	坂道が急
	逃げる道が狭い
	道が狭い
	自宅周辺道路は坂道で歩行が大変である 判断が困難である
	海付近から山側へ避難しても孤立してしまわないか
	津波で逃げた後、孤立する
	避難先がわからない
	避難する場所・方向がわからない
	避難の道路が通行できるか
	古い建物が多いので、津波が起きた時、建物が崩れることが多く逃げられなくなる
	高台への移動
	車で逃げることは考えない方がよいか
	土砂崩れも危険
避難所の問題	避難所に全員入れるか
	避難場所の把握
	食料・飲み物の確保
	避難ビルが少ない
避難の判断	高台に逃げること 逃げたら家に戻らない
	高台に自宅あり あまり動かない方が懸命？
	自分の身は自分で守る
	自宅の2階以上に避難か、外へ出て避難場所に行った方がよいのか
高齢者の避難	まわりの人に言葉をかけること
	隣近所との情報交換
	年寄や子供がいたりすると、短時間に避難できるのか
	老人が多く、一人暮らしの人が多
	他人を助けに行くのか
	近所の老人の心配 一人暮らしの安否確認
安否確認	家族が全員そろってないと連絡がとれるのか
	家族との連絡がとれるか
	家族の安否
	家族がそばにいるか確かめる
関係屋	台所周辺の火の始末
	家の中でガラスが散乱していた場合、はだしで歩けるか
観光客への対応	観光客の避難
	ホテルからの避難